昭和37年9月20日生、平成 。添田町立添田小学校·添田中学

夢からはじまる

http://www.kouzakisatoshi

県政報告 食と緑を守る緑友会福岡県議団

平成28年5月号

質闷の冒頭より (2月定例 会

スマートフォンでも



川地邑は一躍、 いかと思 调 ていま 查 明らかにされるそうで 仾 「字の の5 3月20日 すけど、 事には大いにPR えあ 究を いま 県主大学であるんですが、 福永晋三氏 自で つめて 枚 内 思います。 ひつくり 的ロマン・文化 耄 九 頂き、 元を浴びるんじゃなくり 返るぐらい、田うです。これが本当 B 功 州 して 故 天皇にま 皇に、 は神 何県も によ 、数多く、 iţ 后田 いなって、 頂き 」と記 **実**帶 红沙 文で 括 ごされ とり 講 存 ŧ 周 éà ح 彼 広 が うわる 亿 そこ 演 読城 怒的援 Ð たの 会む観

委員 (は・ひと・しごと対象調査特別委員会・登集主整備委員会・委員会・委員会・選事兼委員実現を 目指して 市との 指転 出 入不 抣 衡の是 委員

ブログ報告



動画報告



フェースブ゛ック

フェースフ゛ック ページ

ツイッター

回数系第回

平成28年度の当初予算を可決しました。一般会計で1兆8,026億円余、特別会計で5,913 億円余、企業会計で106億円余の規模となり、一般会計では前年度当初予算に比べ、 1.4%の増で、過去最大となっています。 (「ふくおか県議会だより」をご参照下さい)

これまでの質問によって、今年度、当初 予算で新たに計上された新規事業をピック アップしました。

その他県土整備事務所・農林事務所など の地元要望も予算化できています。 (千円)

平成24年2月定例会(サイバー空間における情報セ キュリティ対策について

■自治体情報セキュリテイクラウド整備費

444, 300

平成24年6月定例会(県防災・行政情報通信ネット ワーク再構築の時期と基本構想について) 平成25年12月定例会(次世代防災・行政情報通信 ネットワーク)

■防災・行政情報通信ネットワーク整備費

2, 770, 771 (債務負担行為 4, 132, 000)

平成25年2月定例会(伐採後の森林整備)

■森林世代サイクル回復対策費 25,000

平成26年2月定例会(学校給食・食堂の衛生管理と 栄養教諭の役割について)

- ■学校給食・食育総合推進費
- ・公立高校における食育出前講座の実施に要する経費

1, 052

・健康増進のための食育カリキュラムの開発に要する経費 7,601

・学校給食を活用した伝統的食文化継承の取り組み

8,000

平成26年2月定例会(英彦山の絶滅危惧種保護対策 について)

- ■英彦山の生態系回復事業費
- ・シカの捕獲に要する経費

33, 255

平成26年6月定例会(住民交流促進と新観光振興)

■世界遺産を核とした県内周遊の促進 14, 987

平成26年9月定例会(航空機産業の誘致)

- ■航空機産業振興費
- ・航空機産業への参入に向けた商談会開催に関する経費

- 品質マネジメント資格の取得に対する助成 4,000
- ・航空機人材養成機関の講師による出前講座の開催経費 2,029
- ・航空機関連企業への派遣研修に対する助成 5.349

平成26年決算特別委員会(運転免許証を自主返納さ れた高齢者の支援サービス)

- ■交通安全運動推進費
- ・市町村が実施する高齢者運転免許証自主返納促進事業に 対する助成 17, 476

平成27年予算特別委員会(県立学校の老朽化施設に ついて)

- ■県立学校施設整備費
- · 老朽校舎改築費 81, 415 (田川高等学校管理教室棟改築基本設計・実施設計)

32, 200

・県民並びに富岡県人会の郷土愛と湾・「人」「人」「リーディー・「人」「リーディー・「

申竒義員】

⑨県内の実施校と生徒の感想

有栖川宮熾仁親王が着任されました。福岡県,が誕生しました。初代知事には71年(明治4年)の廃藩置県によって、"福岡県の歴史を振り返りますと、18

ら制定されるものだと思います。 識と郷土愛の精神を育もうという願いか識と郷土愛の精神を育もうという自治意識し、さらに豊かで住みよい郷土をつくるは、県の歴史を振り返り、現状を十分に認は」、県の歴史を振り返り、現状を十分に認明在、1都14県で、「都民の日・県民の現在、1都14県で、「都民の日・県民の

るとお考えでしょうか。 「都民の日」「県民の日」の意義は、どこにあ①知事は、1都14県が制定しています

いと思います。

②また、本県ではこれまで「県民の日」を制定する議論や検討をしたことはなかったのか理由をお聞かせ下さい。まてかったのか理由をお聞かせ下さい。までしょうか。あれば、その経緯と過程につい定する議論や検討をしたことはなかったの定する議論や検討をしたことはなかったの定する議論や検討をしたことはなかったののまた、本県ではこれまで「県民の日」を制

見をお尋ね致します。
に取り組もうとお考えなのか併せてご所以民意識を向上させ、郷土愛を育むよう県民意識を向上させ、郷土愛を育むようの場でのような形での場合の場合の場合の場合のが、どのような形での知事は、本県並びに福岡県民そして海

うが、より一層、福岡県に対する愛着を深

愛の強さについては、実感されたことと思

うな波及効果が考えられるのでしょうか。④仮に「県民の日」を制定した場合、どのよ

えていきたい。

機会あるごとに、元気な福岡県の姿を伝

めていただけるよう、これからも私自身、

【小川知事】

①「都民の日」「県民の日」については、東京市が誕生した日、それ以外は、市台に由来しているようである。こうした「都民の日」「県民の日」は1都14県で作た「都民の日」「県民の日」は1都14県で作れた日に由来しているようである。こうした「都民の日」「県民の日」は2都14県で作れた日に由来しているようである。こうした「都民の日」「県民の日」については、東京市が三という趣旨で制定の日」については、東京市が三という趣旨で制定されたのではない。

ではないかと考えている。 と、果民の日」の制定についてどうするか、検 、は、かったことから、議論や検討が行われてこなかったことから、議論や検討が行われてこなかったものと承知している。自然な 、自」の制定をもって高まるものではないと考 、まる。むしろ、郷土愛が高まっていって、「県民の日」を求める声が広まってきたときに、 、場民の日」の制定についてどうするか、検 望や機運の高まりがなく、また県民の一体 と、また県民の一体 と、また県民の一体

> (単民の日」を制定している自治体では、 (中国民の日」を制定している自治体では、 (中国民の日」を制定している自治体では、 (中国民の日」を制定しているところがある。また、県にっいては、市町村や民間がこの日に因み、地 がとした県有施設の無料開放といった取組 がの祭りやスポーツイベントなどの協賛事 なの祭りやスポーツイベントなどの協賛事 なのがところもあり、その取組みの内 なのがある。また、県にっ ないでは、すでは、文化・スポーツ施設をはじ ないでは、文化・スポーツの振興や地域 ないでは、文化・スポーツをとの協賛事 ないでは、文化・スポーツをといった取組 ないましている自治体では、 といる自治体では、

も、業務という場面ではあるが、職員がそ 県職員としての品位を保持し、自覚や使 らかにするということは、それぞれの自覚、 務以外では使わないものの、記章の着用と ら、職員が着用する県章付きの名札を導 もあるが、本県では、職員が着用する記章 品位を保持するため記章を定めている例 ⑤他県では、職員としての自覚を喚起し、 向上という観点から有用ではないかと考え 使命感、責任感、あるいは県民サービスの の名札を着用し、県民の皆さんに氏名を明 ろうと思っている。その際、庁外において ほどご質問で議員もおつしゃったとおり、 であるというように考えている。まさに、先 たに記章を作るというよりは、県職員とし かせいただいたところである。今の時点で新 の意義について、今、議員からいろいろお聞 同様の効果があるものと考えている。記章 促進を図ること等を目的に、平成10年か 上、職員相互の円滑なコミュニケーションの 命感を高めるとともに、県民サービスの向 については定めていない。本県においては、 とりの意識を高めていく、そのことが重要 ての誇りや自覚を持つように職員一人ひ 入しているところである。名札の着用は、業 一人ひとりの真摯な取組み、これが肝心だ

【城戸教育長】

で作られた当時は、県内の中学校や高等で作られた当時は、県内の中学校や高等でないったため、昭和40年代から実施するが、この体操は、複雑な動きが多いことにが、この体操は、複雑な動きが多いことにが、この体操は、複雑な動きが多いことにが、この体操は、複雑な動きが多いことにがが少なくなってきたと聞いている。また、校が少なくなってきたと聞いている。また、校が少なくなってきたと聞いている。また、でなが少なくなってきたと聞いている。また、受校における体育の授業の準備運動や運動や運動を行う学校が多くなった主な理由として考えら、実施されなくなった主な理由として考えらい。

③県内の県立学校では、現在、小倉工業高⑨県内の県立学校では、現在、小倉工業高校、 宗像 市学校の5校が実施している。実施している学校の生徒からは、「学校の伝統とし宗像中学校の5校が実施している。実施しった。

の県民体操については、当時、集団として の一体感や県民意識を醸成する上では、 方、先に答弁したとおり、学校体育にお がら、先に答弁したとおり、学校体育にお が多く、多様化している。したがって、県民 現在、学校では、実施種目に応じた準備運動 の一体感や県民意識を醸成する上では、 の一体感や県民意識を醸成する上では、 の一体感や県民意識を の一体感や場については、 の一体感や県民意識を の一体感や県民意識を の一体感や県民意識を の一体感や県民意識を の一体感や県民意識を の一体感や県民意識を の一体感や県民意識を の一体感や原体が の一体の の一体感や原体が の一体の の一



平成27年度予算特別委員会に引き続き、平成28年度予算を審議する予算特別委員会に任命されました。「過疎地域における公共交通(鉄道)の利用促進について」「TPP協定を踏まえた園芸産地競争力強化対策について」「福岡県の未来を担う子どもたちの姿」質問に立ちました。

平成28年度予算特別委員会(企画・地域振興部所管) 過疎地域における公共交通(鉄道)の利用促進について

予算特別委員会は一問一答 ~真剣な予算審議と同時に、議員の資質が問われます~



鉄道駅を拠点とした街づくりと、鉄道を活用した地域振興 の観点から質問しました。

人口減少、少子高齢化、車社会によりまして、公共交通・ 鉄道事業をとりまく環境は、年々厳しさを増しております。 過疎地域においては、鉄道利用者の減少や本数の縮小、 サービス水準の一層の低下が懸念される中で、平成26年5 月に、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律が 一部改正され、まちづくりと一体となった持続可能な地域 公共交通ネットワークを実現するための枠組みが作られた ところです。しかしながら、現実は、これと大きくかい離して おります。JR九州が、日田彦山線の石田駅などを無人化 するという発表がありました。JR九州は、来年度中に予定さ れております完全民営化・株式上場に向けて、鉄道事業の 人件費を削って、鉄道事業の赤字を縮減し、収支改善を 図るのが狙いだと思います。

(神峪委員)

JR九州は、どのような基準で、無人化とする駅を対象としているのか?無人駅の現状について問う。

(企画・地域振興部 交通政策課長)

JR九州からは、無人化の明確な基準はなく、駅の乗車人員に加え、定期券利用率や切符の売り上げ、駅周辺の住宅や商業施設の状況などを総合的に勘案して、無人化する駅を選択していく方針であると聞いている。しかしながら、JR九州は、無人化する駅の自治体説明等において、1日乗車数が700名以下の駅を目安としていると説明しており、700名が一応の目途となっているものと思われる。

(油條委員)

田川地区を南北に走るJR日田彦山線の有人駅が急速に減っている。一昨年7月の香春駅、昨年3月には添田駅を無人駅にし、今度は、豊前川崎駅を、無人駅にするという意向を、JR九州は川崎町に昨年の8月に伝えていた。川崎町では検討を重ねた結果、簡易委託方式を採用する予定と聞く。豊前川崎駅について、県としてどのような支援をしてきたのか。また、県は、JR九州に対して、無人駅化に対してどのような要請を行ってきたのか。

(企画・地域振興部 交通政策課長)

県は、昨年の8月に川崎町から相談を受け、JR九州内で

無人化した駅の対応状況や、無人化せずに市町村に業務 委託している事例などの情報提供を行うとともに、JR九州 に対し、「九州地域鉄道整備促進協議会」などで「豊前川 崎駅舎有人体制の存続」について、要望を行った。

(神峪委員)

昨年3月14日に無人駅になった添田駅は、どのような経 緯だったのか。

(企画・地域振興部 交通政策課長)

JR九州によると、平成26年9月に添田町の自治体職員に 対して、無人化を行いたいとの説明を行い、添田町から了 解を得た。その後、添田町からJR九州に対して、駅存続等 の要望もなかったため、予定どおり平成27年3月14日に無 人化したものと聞いている。

(神崎委員)

まったく知らなかった。 県も情報が入った段階で、地元選出県議に報告するように。 豊前川崎駅では、事前に無人化の情報をキャッチし、川崎町が、JR九州に、無人化を延期するように交渉・要望し、結果としては川崎町が引き継ぎ、有人駅として存続。 そこには、町の玄関口である駅の無人化は、地域活性化に逆行し、地方創生・まちづくりの議論を根底から覆すことに繋がってくるという、危機感があったからだと思う。 駅の重要性について、県はどのように認識しているのか。

(企画・地域振興部 交通政策長)

駅に、医療や福祉、商業という機能が集まることは、今後 の高齢化の進展を踏まえた場合、利便性を高め、誰もが住 み慣れた地域に暮らし続けることを可能にするもので、地 方創生にも資すると考える。

(神﨑委員)

無人駅となった駅舎の活用やJRからの護渡、あるいは、駅を街づくりの中核に据えた、コンパクトシティを構築するなど、鉄道駅を拠点としたまちづくりが、地方創生の起爆剤になる。例えば、私の地元添田町役場の庁舎が、老朽化して、いずれ改築の話が出てくると思う。役場と駅を一体化した庁舎建設も一つのアイデア。また、学校も含めた公共施設などを、鉄道駅に集約した街づくりは、町に賑やかさを取り戻し、鉄道利用も大幅に増えてくる。香春町役場も駅と降板し、駅・線路を挟んで小学校もある。香春駅や中心に踏市計画を考えることで活性化できるのではないか。こういった地域構想に立って、県が町とJR九州との協議の場をセッティングし街づくりのための交通政策を考えられないか。

(企画・地域振興部長)

県では、住民の利便性に配慮した、地域密着型の公共 交通体系の確保のため、県や市町、民間団体等で構成す る「福岡県地域交通体系整備促進協議会」において、これ までも、JR九州に対し、「まちづくりと一体となった地域公共 交通の活性化に資する取組みへの協力や助言」を要望し ているところである。こうした取組みに加え、今後、地元の

意向を踏まえ、県として出来ることがあれば対応してまいりたい。

(神崎委員)

昨年4月1日にJR日田彦山線・採銅所駅が、開業100年を迎え、知事もふるさと訪問で、採銅所駅を訪れて頂いた。駅舎は1915年(大正4年)に建てられた寄せ棟造りの近代洋風木造で、日田彦山線の前身である小倉鉄道開通時からの姿を伝えている。また、平成筑豊鉄道は、120周年、我が国の鉄道の歴史の中でも最も古い歴史を有している。九州最古の「第二石坂トンネル」や「内田三連橋梁」といった、我が国の鉄道技術を伝える資産も多くある。このような鉄道施設の文化財としての価値を見直し、活用すべきだと思う。県として鉄道を活用した地域振興について問う。

(企画・地域振興部 交通政策課長)

JR日田彦山線や平成筑豊鉄道は、筑豊炭田の石炭輸送を目的として、造られたものであり、駅舎やトンネル、橋梁などの歴史的価値のある施設が数多く残されている。これらの鉄道を再評価し、「産業遺産」や「石炭遺産」とストーリーで結んだ鉄道による観光ルートを開発することも検討してまいりたい。

(神崎委員)

2月18日、JR九州は日田彦山線に「ゆふいんの森号」を 走らせた。店員150名が3日間で完売し、当日は、周辺市町 村の温かいおもてなしもあり、乗客は大変満足したと報道 があった。SL蒸気機関車や「ななつ星」の新ルートに日田 彦山線・平成筑豊鉄道で走らせる企画を立ち上げ、地域が 一丸となった取り組みをすることで、地方創生へと確実につ ながっていくと思う。前向きに検討できないか。

(企画・地域振興部 交通政策長)

御指摘の点も含めて、今後、県が中心となり、沿線市町 村だけなく鉄道事業者はもとより、商工会や観光協会など、 これまでにない広範囲の地域主体と協議する場の設置に ついて検討してまいりたい。

(神﨑委員)

大変前向きで、積極的な答弁だと思う。田川の皆さんも勇気が湧いてきて、大きな希望を持つことができる。まず、田川広域観光協会に話し、周辺の自治体に声をかけるところから始まる。そして、北九州市・大分県にも要請し、JR九州との交渉を進めて頂ければと思う。

JR九州並びに平成筑豊鉄道に要望がある。過疎地域における交通政策の切り札は、ICカードの導入だと思う。既に全国10種類の交通系ICカードの相互利用が、昨年3月より始まっている。九州では、JR九州のSUGOCA(スゴカ)、福岡市交通局のはやかけん、西日本鉄道のnimoca(ニモカ)があり、ICカードは約20万店の加盟店で電子マネーとしても使用できる。小銭を持たなくていいのは、お年寄りの方に喜ばれ、定期券を紛失しても、手数料だけで再発行できる。是非、実現するように要望する。

交通政策新規事業

- ○鉄道事業者が行う安全施設等の整備に対する助成(新)
- •平成筑豊鉄道(株)

13,973(千円)

- ○鉄道事業者が行う車両の法廷点検に対する助成(新)
- •平成筑豊鉄道(株)

10,697(千円)

- 〇地域鉄道活性化推進費(新)
- 0, 097(千円) 347(千円)
- ○市町村が行うコミュニティパス路線等の維持・確保に対する助成
 - ・新規路線開設促進するための補助率の上乗せ制度の創設(新) 8,000(千円)
 - ・市町村が行う地域コミュニティ運送実証実験に対する助成(新) 1,300(千円)
 - ・事業者が行う幹線的な路線バス運行欠損額助成(田川郡5路線)

平成28年度田川郡主要事業

- ○道路防災事業(国道500号、八女香春線他)
- ○交通安全対策(添田赤池線、添田小石原線他) 64,050(千円)
- ○道路整備事業(国道322号、英彦山香春線他) 414, 750(千円)
- ○基幹的道路整備事業(国道322号、国道500号、田川直方線)

1,084,480(千円)

89, 250(千円)

63,000(千円)

11,300(千円)

439,550(千円)

376,658(千円)

150,666(千円)

○河川改修(油木ダム、陣屋ダム)

○河川総合流域防災事業(災害関連情報提供)

○砂防事業 ○水道広域化暫定水源対策

○水道施設耐震化等促進

国土交通省関係予算

16,934(千円) ○伊良原ダム個別事業

13,500(百万)

日本が今後、成長と発展を遂げるには、世界を舞台にリーダーシップを発揮して活躍できる「グローバル(地球規模)人材」と、既成概念にとら われないアイデアやモデルで新たな価値や解を創出する「イノベーション(技術革新)人材」が必要だと思います。 その子どもたちの姿とは。

平成28年度予算特別委員会(教育委員会所管) 福岡県の未来を担う子どもたちの姿について

「志をもって意欲的に学び、自律心と思いやりの心をもつ、た くましい子ども」〜知育・徳育・体育のバランス



NHKの朝のドラマ「あさが来た」、高視聴率ですね。主題 歌「365日の紙飛行機」もいい歌です。さびの部分ですが、 「人生は紙飛行機 願いを乗せて飛んで行くよ 風の中を 力の限り ただ進むだけ その距離を競うより どう飛んだ か どこを飛んだのか それが一番 大切なんだ さぁ 心 のままに 365日 |

人生や教育を考える上で、ハッと気付かせられるものがあります。私は、今、県教委が、目指しているものが、紙飛行機の距離を競っているんじゃないかと感じています。そこで、改めて教育とは何か。子どもたちを育てるためには何が大切なのか。教育の原点に返って質問したいと思います。

(神崎委員)

小中学校を取り巻く様々な課題がありますが、県教委の 認識を聞かせ下さい。

(義務教育課長)

主な課題としては、「自分から勉強しようとしない。学習が役に立つと感じていない。」など「学ぶ意欲の低下」、「自分はだめな人間だと考えている。自分に自信がない。夢や希望がもてない。」など「自尊感情の低下」、「善悪の判断ができず、できても実践しない。責任ある行動をとろうとしていない。」など「規範意識の低下」、「我慢して実行しようとする気力や忍耐力に欠けている。疲れやすい。」など「体力の低下」が挙げられる。

(神崎委員)

県教育委員会は、全国学力・学習状況調査で「全国平均を上回る」ことを目標に色々な施策を講じておられますが、「全国平均を上回る」ことが、今、課長が申されました課題解決に、どう結びついていくんですか? 県教委として、全国学力調査で平均正答率を上げることが、どのように本県の子供たちの課題の解決に結び付くと考えているのか、お尋ね致します。

(義務教育課長)

平均正答率を上げることが最終目的なのではなく、全国 調査の結果の検証に基づき指導方法を改善し、学力を子 供たちに身に付けさせるという過程が最も重要。このいわゆ る検証改善サイクルは、子供たちが生活の大半を過ごす学 校のあらゆる教育活動で活かされるものであり、このサイク ルが全ての小中学校で確立されることが本県の子供たちの 課題解決につながっていく。

平均正答率は、その成果を測る重要な指標の一つ。

(神﨑委員)

そのような考え方が、うまく学校に伝わっていないように思います。学校現場には、とにかく成績がアップするようにと指示が出されていますし、私たち騰員も、どうしても数字で評価しがちになりますから、議会での質問も、学力調査の結果に集中してしまい、その結果、今、課長の答弁に反して、実際には、県教育委員会も学力調査の正答率を上げることが、目標から目的に変わっているんじゃないでしょうか。我豊地区に集中的に重点的に力を入れて頂いている事には、大変感謝致しているんですよ。ただ、全国学力・学習状況調査を良くするために、過去問題に取り組むようになったら、本末にだと思います。私は平成17年度だったと思いますが、福岡県学力向上推進会議の企業代表の委員でありまた。、福岡県学力向上推進会議の企業代表の委員でありました。

本来、「学力」というのは、「学ぶ力」なんです。「学んだ 力」じゃないはずです。従って、今年度は、たまたまテストの 結果が良かった、悪かったと一喜一憂するんじゃなくて、そ の過程で、どんな力をつけたのか、子どもたちがどのような 姿へと変わってきたのかを見なくてはなりません。 冒頭、「365日の紙飛行機」の「その距離を競うより どう飛んだか どこを飛んだのか それが一番 大切なんだ」がありました。

「テストの結果を競うより どう学んだか どこを学んだのか」 私は、未来を担う子供たちにどのような力を身に付けさせた いのかを決して見失ってほしくないという想いです。

そこでお尋ねしますが、子供たちがこれからの社会で、人 生を生きていく上で、本当に身に付けなければならない力 は何だとお考えでしょうか。

(義務教育課長)

まず、基本的な知識技能に加えて、これらを活用する力を含む「学力」、それから、自ら考え、多様な価値観の人々と協働し課題を解決していく「社会にはばたく力」、さらに、郷土や日本の歴史、文化、地理を深く学び、それらを背景とする考え方、価値観等を十分に理解した上で、世界の歴史等を学び、海外との違いを理解し、多様性を認め合いながら、様々な課題に柔軟に対応する「郷土と日本、そして世界を知る力」を身に付けることが重要。

(神峪委員)

そのような力を身に付けていくためにも、子供たちに必要なのは、まず「意欲」だと思います。子供たちが目を輝かせて興味・関心・意欲が湧く授業の実践が必要なんだと思います。授業が面白くなければ、子どもたちの目は輝きません。

「子供は好奇心の固まりである。その好奇心を心地よく揺さぶり、育て、追究することの面白さを充分に体得(たいとく)させていくことで、子供は追究し続ける。「追究の鬼」を育てる。」一昨年に亡くなられた有田和正先生の言葉です。 教育界、とりわけ福岡県に残された有田和正先生の功績を御存知ですか。

(義務教育課長)

有田和正先生は、筑豊地区の公立小学校教諭として採用 され、その後福岡教育大学附属小倉小学校や筑波大学附 属小学校の教官、愛知教育大学教授等を歴任。

教論時代は、「社会科の授業名人」として有名であり、社会 的事象を意欲的に調べる児童の育成に努め、「追究の鬼」 とも呼ばれ、有田先生の公開授業は、いつも多くの教師で あふれたと聞き及ぶ。

(神崎委員)

私は何度か、田川郡内の小学校で、有田和正先生の授業を拝見させて頂きました。夜も一緒に教育談義に加わりました。

「授業とは何か、教えたいことはたくさんあるが、一時間の 授業で教えたいことを一つに絞って教えること、でも肝心要 の教えたいことは教えてはならない」有田和正先生は、そう 言っていました。教えたいことを一つに絞り、それを教えて はいけないというのですから。奥が深いですね。

人が最も成長するのは、自分で考え悩み抜いた時だそうです。 教える側は、できるだけ教え惜しんで、本人の「知りたい」「追究したい」という気持ちに火をつけるように導くことが、本当の「教える」ことだと教わりました。

今、学校現場で必要なことは、こういった授業実践に多くの 先生たちが触れ、指導力を磨くことにあるんじゃないかと思 います。

本県の先生方はこのような経験をされているでしょうか。こ の点、県教委としては来年度どのような施策を講じようとし ていますか。

(義務教育課長)

本県では、全ての小中学校において、児童生徒や学校・ 教員の課題に応じた授業研究を伴う校内研修会が実施さ れている。

教科等研究会等が開催する公開授業にも教員が参加し、 質の高い授業を参観し、自校での授業改善に活かしてい ス

県教委では、来年度から、アクティブ・ラーニングについ て研修する講座を福教大学附属や各地区の小・中学校で 実施予定であるが、これは公開授業を軸とした内容となる。

(神崎委員)

課長の答弁を聞いていたら、既に質の高い授業を実践し ている、取り組んでいる、アクティブ・ラーニングにしても各 地区で実践予定であるとのことですが、何の問題もないよう に聞こえますが、課長は着任されてからもうすぐ1年になり ますよね。学校現場の研究授業を何度見に行きましたか?

課長、お忙しいでしょうけど、是非、現場に足を運んで下さい。現場に足を運ぶことで、課長自身、学ぶことがたくさんあると思います。また、授業研のあと、先生方との教育談議に是非参加して頂き、生の声を聞く事も、とても大事だと思います。どのくらい本県におられるかわかりませんが、是非、実践されて下さい。

本来、県教委がしなければならないのは、ああだこうだと 押し付けた通達じゃなくて、現場の先生方がその熱意や能力を十二分に発揮できる自由な環境と時間をつくることじゃないでしょうか。その意味では、現場の先生方には常に研究・研鑽を積んでもらいたいのですが、県教委としては、現場の先生方の研究会活動やサークル活動についてどのような評価・認識を持っていますか。

(義務教育課長)

教員は、その職責を遂行するために、絶えずその資質の向上を図ることが重要。教員がそれぞれの課題や関心、希望に応じて、教科等研究会やサークルに所属して研修することは、教員の資質能力の向上から大きな意義がある。

(神崎委員)

教員の自己研鑽に対する県教委の応援を是非よろしくお願いします。課長は、大きな意義があると申されましたが、そのように頑張っている先生方をきちんと評価・評価することが何よりも大事だと思います。ただ、学校現場の実態は、非常に忙しくて、報告や通達文書、各種のアンケート、それに私たち議員が質問することで調査が山のように学校現場に降りてきます。また、生徒指導に大きな労力を割かなければならない学校もあります。このような中で教師が子供たちと向き合う時間を確保するためには、IT環境を整備することも不可欠ですが、教員以外の専門スタッフを活用した学校の組織力の向上もまた重要です。そのような中、来年度予算案に「チーム学校推進事業」の狙いと概要・指定校はどのようになっているのか教えてください。

(義務教育課長)

教員以外の専門スタッフを学校に配置・派遣して、教職員の指導力の向上や教員が子供たちの指導に専念できる学校の体制づくりを進め、いじめ・不登校等生徒指導上の問題や学力の向上を図る。

SSWの未配置市町村への配置、弁護士による管理職等研修、指定中学校区へのSSWと警察OBの派遣を行う。

(神﨑委員)

この事業をきっかけに、専門家に任せられることは任せ て、先生方が本来なすべき子供たちの指導に専念できる 環境づくりが全県的に進むことを期待しています。

最後に、福岡の未来を担う子供たちの姿をどう描いているのか、そのためにどのような取り組みを進めていくのか、 教育長にお尋ねします。

(教育長)

県教育委員会では、昨年12月に策定した「福岡県学校教育振興プラン」において、「社会的自立の基盤となる学力、体力、豊かな心を培うとともに、社会の変化に対応し、社会を支え、その発展に寄与する力を育成する」ことを学校教育の目標として掲げました。

この目標に向け、アクティブ・ラーニングや体験活動の推 進、いじめ・不登校等への対応、インクルーシブ教育システ ムの構築、キャリア教育や英語教育の充実、ICTの活用、 教員の指導力と学校の組織力の向上などの諸施策に重点 的に取り組んでまいります。

なお、諸施策の推進に際しては、学校の様々な教育活動の場面で、「鍛えて、ほめて、子どもの可能性を伸ばす」いわゆる「鍛ほめメソッド」を全県共通の指導原則として実践することが重要であると考えており、この実践を通して、子供たちに、学ぶ意欲や自尊感情、向上心やチャレンジ精神、勤勉性や逆境に立ち向かう心など、自律的に成長するための原動力となる人格的資質を身に付けてほしいと考えています。

TPP大筋合意を踏まえ、本県園芸農業の競争力の強化を図るため、先進技術の導入や省力機械・施設等の生産条件の整備を進めるとともに、 「早味かん」「秋王」を始めとする果樹優良品種への改植を促進。果樹緊急対策として5千万円・条件整備事業等で14億円・産地パワーアップ・事業18億余

平成28年度予算特別委員会(農林水産部所管) TPP協定を踏まえた園芸産地競争力強化対策について 県民の生活と食を支え、全国14位の産出額を誇る農林水産 県です。農林水産業を守るために、真剣勝負で挑みます。



「TPP協定を踏まえ、本県の園芸産地競争力強化につい て」お尋ね致します。まず先月、本県が算出しましたTPP 協定による県農林水産物への影響を公表されました。それ によりますと、影響額は約12億~20億円減少するとのこと です。内閣官房TPP政府対策本部に算出方法に基づくと していますが、農家からすればそんな程度かという印象を 受けてしまうんじゃないでしょうか。影響額が過少評価され ているのではないかと思うのは、私だけじゃないと思いま す。例えば、今日園芸振興課に質問しますが、園芸品目に ついては、かんきつ類の生産減少額として3千万円から6 千万円と試算しており、全体の生産に対する割合は、平成 25年で56億円ですから、影響額はその0.5%から1%に 当たるということになります。 あくまでも国の試算に基づい たものだと思いますが、前提条件が変われば、影響額も大 きく変わってきます。あたりまえの事ですが。要は、実態が しっかりと試算と結び付いているかということを考えなけれ ばならないと思います。

(神崎委員)

TPPを踏まえた平成28年度の活力ある高収益型園芸産 地育成事業費でありますが、本県では、平成4年から、「高 収益型園芸産地育成事業」を実施し、施設・機械の整備を 通じて産地育成を進めてきました。この事業は、農家の皆 さんから高い評価を受け、園芸農業の振興に大きく貢献し ていると思います。27年度は、年予算額として14億計上し ておりました。平成28年度予算では、新たに果樹緊急対 策5千万円を計上していますが、どういう目的で追加予算と したのかお聞かせ下さい。

(園芸振興課長)

TPP協定を踏まえ、園芸農業においても、競争力の強化 を図ることが必要であり、特に、果樹については、成園化ま でに年数を要することから、早急な対策が必要と考えてい る。そこで、「早味かん」、「秋王」等の優良品種への改植を



に伴い導入 可能となる 乗用防除機 や果樹棚等 の施設整備 に対する支 援を緊急対 策として5千 万円予算措 置したところ である。

(神﨑委員) つまり、28 年度は14億 5千万円で 高収益型園 芸事業を実 施していくと いうことです

ね。5千万円については、一定の評価をしますが、ただ、こ れまでの14億円の高収益型園芸事業について、現場の農 家からは、事業要件が厳しく、申請すらできないという声が あがっています。また、27年度は事業要望が多く、採択さ れなかった方もいると聞いております。そこで、まず、事業

対象者の要件についてお尋ね致します。

栽培農家が多い品目や、県南のような大規模産地では、 営農集団を組織し、容易に事業実施が可能でありますが、 マイナー品目や小さい産地では農家の集団化すら困難で あるため、この事業が活用しづらいという実態があります。こ ういった産地に対して受益者の要件緩和が必要だと考えま すがいかがですか?

(園芸振興課長)

高収益型園芸事業については、これまでも農家や市町村 の意見を聞きながら、要件の見直しを行ってきているところ。例えば、従来は集団を事業対象としていたが、中山間 地域や新規作物を導入する際など、集団化が困難な場面 も多かったことから、認定農業者であれば個人でも実施で きるようにした。また、営農集団の要件についても、集団全 員が認定農業者であることが困難な産地に考慮し、平成2 4年度からは、認定農業者が1戸含まれれば実施できるよう にするなど、地域の実態に応じて、見直しを行ってきている ところである。

(神﨑委員)

それでも、なおかつ厳しいという声もあります。当然、一定 の要件を課すことは理解できますが、事業要件について は、その時々の情勢に応じて臨機応変に対応すべきと考 えますので、今後とも現場の声に耳を傾け、より良い制度 になるよう見直しを図っていただきたいと要望します。 次に、近年の高収益型園芸事業の要望状況についてお尋 ね致します。

園芸農業を取り巻く環境が変化する中で、高収益型園芸 事業においては、省エネ対策や長寿命化対策などのメ ニューを追加したこと、また、地域による差はあるが、近年、 雇用を導入して規模拡大をめざす農家が増えていることか ら、事業要望が多くなっている状況にある。

(神峪委員)

27年度の状況はどうでしたか?また、どのように実施して きたのでしょうか。

(園芸振興課長)

27年度は、先ほど申し上げました理由により、例年になく 多くの要望が挙げられたところであります。このため、植え 付け時期が早い作物のハウス施設など、早期に着手する 必要があるもの、また、市町村から示された優先順位を考 慮し、順次執行しながら、ひとつでも多くの要望が実施でき るよう努めてまいりました。この結果、現在の生産への支障 が少ない既存ハウスの改修や、年度内の竣工が間に合わ なくなったハウスの新設など、一部が残りましたが、概ね実 施できたところであります。なお、今申し上げた残りの要望 については、市町村からも次年度の要望に挙げられてお り、県としましても、年度早々に実施できるよう努めてまいり たいと考えております。

(神崎委員)

当然来年度も多くの要望があると予想されます。意欲の ある農家の方々に対して、スピーディに処理をし、できる限 り、要望に応えられるようにお願いします。こうした中で、TP P協定という大きな環境変化が起きようとしているわけです が、現場では、何か新たな取り組み、もしくは、生き残るた めの基盤強化などを考えている農家の方々も多くなってき ているとも思います。 農家のやる気をそぐことのないような 対応が必要と思いますがいかがでしょか?

(園芸振興課長)

今回、国において、TPP対策として、競争力の強化を目 的とした「産地パワーアップ事業」が新たに創設された。県 としては、高収益型園芸事業と併せて、この事業を最大限 に活用し、意欲あるすべての農家の取り組みに応えられる よう努めてまいりたい。

(神﨑委員)

はい、是非よろしくお願いします。やはりこの高収益型園 芸事業は、農家の期待が大きい事業だと言えます。これか らも現場の声をしっかり反映させて頂きたいと思います。

では、「産地パワーアップ事業」の活用ということですが、高 収益型園芸事業との補助対象の棲み分けはどう考えてい るんでしょうか。

(園芸振興課長)

比較的事業費が高い施設、例えば、強風にも耐えるハウ スや集出荷施設などを「産地パワーアップ事業」の補助対 象として実施することとしている。

「産地パワーアップ事業」は基金事業ということですが、単 年度ではなく継続して実施されるのでしょうか?また、その 基金が枯渇したら、将来積み増されたりするのですか?

「産地パワーアップ事業」は、国が27年度補正予算で50 5億円を措置し、創設した事業であり、基金事業にすること で、複数年にわたって実施できるようにしたとのこと。なお、 県としては、本事業を継続して活用してまいりたい。国に対 しても、必要な予算が措置されるよう求めてまいる。

(神崎委 員)

TPP協 定の進展 により、国 や県が想 定する以 上の影響 が発生す ることも考 えられるの で、そう いった場 合には、 県としても 国に対し、 しっかり基 金の積み 増し、予算



の増額を要望されることをお願いしておきます。繰り返しに なりますが、TPP協定によって果樹をはじめ園芸農家は不 安を抱えている状況であります。このような状況下において も、本県の園芸農家は、地域農業を守るため、前向きに取 り組んでいこうとしております。県としても、さまざまな対策を しっかり打ち出して頂き、これまで以上に力を入れて頂きた いと思います。

最後に、園芸農業の競争力強化に向けた農林水産部長 の決意をお伺いします。

園芸農業は、県農業産出額の約6割を占め、本県の農業 を代表する重要な柱となっている。県としても、高収益型園 芸事業をはじめ、産地パワーアップ事業など、必要な予算 措置を行い、園芸農業のさらなる競争力の強化と収益性の 向上を図ってまいる。

(神崎委員)

持続可能な農林水産業の振興のために、今後とも予算 措置しっかり頑張って頂きたいと思います。部長から答弁を 頂きましたが、国の試算方法に準拠した本県のTPP影響 試算は、本当に的を射ているのか?この試算が独り歩きす ることも懸念しています。今回の影響試算というのは、TPP 対策を実施することにより生産量が維持されるという前提で の試算となっております。園芸農業をはじめとした予算措 置は、このTPP影響試算に基づいたものだと思いますが、 本当にTPP対策として充分なのでしょうか。私には、知事 のTPPに対しての危機感が伝わってきません。加えて、政 府は「TPPの締結に伴う関係法律の整備に関する法律案」 を閣議決定し、国会に提出しました。4月以降審議で、いよ いよ「TPP国会」が本格化しますので、是非、知事に直接 お尋ねしたいと思いますので、委員長、お取り計らいをよろ しくお願いします。

TPP承認案と関連法案を閣議決定し、国会に提出したことを受け、改めてTPP協定は国会決議は守られたのか、正確な影響試算に基づく国内 <u>農業対策なのか、</u>本当に全ての農産物が市場開放の対象になっていないのか。県は国に準拠した試算を公表している。TPPへの危機感を問う。

平成28年度予算特別委員会(知事保留質疑)

TPP影響試算について

政府はTPPを成長戦略の切り札と位置付けています。鍵を 握る米国の動向もあり、県民目線で熟議した論議が必要。



本県が算出しましたTPP協定による県農林水産物への 影響について、国の算出方法に基づき、その影響額は約1 2億~20億円減少するとのことです。

<神崎委員>

この本県のTPP影響試算は、本当に的を射ているので しょうか?

<知事>

本界では、産出額が公表されている農林水産物83品目について検討を行い、そのうち、政府と同様、関税がないもの、TPP参加国からの輸入品と出荷時期や品質で競合がないものなどを除外し、17品目について、試算した。

試算にあたっては、国と全く同じ方法で、合意内容の最 終年における影響額を算出した。

国の試算は、その前提として、農家の所得を確保するため、国内対策をしっかり講じていくという国の決意を示したものと受け止めており、国の試算と同じ方法で算定した本県農林水産物への影響試算は、妥当なものと考えている。

(神崎委員)

TPP問題は、これまで幾度となく議会で質問し、環太平洋パートナーシップ協定に関する意見書を採択し、国会決議の遵守と十分な情報開示を求める意見書を再三、政府へ提出いたしました。また、TPP断固反対福岡県民集会など、農業、林業、漁業、医療、労働、消費者等々、関係団体が立場を超えて、反対運動を買いてきました。知事は、本県のTPP影響計算が12億~20億程度で妥当なものと考えていると申されましたが、本県のTPP問題は、左程影響の与えるものではなかったということなのでしょうか。

知事は、本県が公表した、この影響試算に対して責任を きちんと取れるんでしょうか。

(知事

影響試算について、私としては、福岡県の大事な農林水 産業をしっかりと守っていくと同時に、攻めの農林水産業を 目指していく必要があると考えている。

このため、国のTPP関連対策予算を最大限に活用し、収益性向上に取り組む産地に対する省力機械・施設の導入などを進めて主いる。

加えて、県独自の対策も強化してまいる。具体的には、高 性能機械の導入による生産コストの低減、優良家畜の導入 による生産性の向上、果樹の優良品種への転換による品 質向上などに取り組んでまいる。

また、アジアをはじめとする海外への輸出拡大に向け、市 場開拓調査など幅広い取組みを引き続き実施し、本県農 林水産業の持続的な発展が図られるよう、さらなる競争力 強化、収益力向上に取り組んでまいる。

(神崎委員)

国内市場が飽和状態の中で、海外への輸出拡大に力を 入れるとのことですが、県内生産額は、2,654億円であり、 現在、海外輸出額は16億で、0.6%にしか過ぎません。ど のくらい目標にしているかわかりませんが、大変厳しい状況 になることは否めないと思います。

県内のTPP影響試算は、本県として数字を公表している わけですから、国じゃなく、県は、この数字に責任を持たな ければなりません。

責任を持たねばならないと申しますのは、この影響試算が、既に独り歩きしているからなんです。 生産現場からは、 過小評価じゃないのかという声が、あちらこちらから聞こえ てくるんからなんです。 知事は、生産者の方々、農業水産



業の団体に対して、本県のTPP影響試算について、直接、説明責任を果たされるのですか。

(知事)

今後、農林水産部職員が、今議会で計上しているTPP 関連対策と併せ、この影響試算についても、農林事務所ご とに、市町村、農協、指導農業士、女性農村アドバイザー など関係者に対し、幅広く、丁寧に説明してまいる。

私自身も、生産者や農林水産団体の方々と、お会いする 機会を捉え、県として、どのような対策に取り組んでいくの か、丁寧に説明してまいりたいと考えている。

(神崪委員)

生産現場の皆さんは、不安と不信をお持ちになっておられます。やはり、知事、国に基づいた試算とはいえ、本県としてTPP影響試算を公表されたわけですから、知事が申さ



れました通り、やはり知事ご自身が、きちんと丁寧に、説明 を行う必要があると思います。



次に進みます。農林水産物の生産額への影響について、前回、平成25年3月の試算と今回の試算の結果が大きく異なっている理由は、TPP政策大綱及び関連予算を決定するなど、国内対策に取り組んだのが主な理由だと思いますが、前回と今回の差異はそのように理解してよろしいでしょうか。

(知事)

今回の試算は、大筋合意を踏まえ、国内対策を講じると いう前提のもとに、政府が最終的に試算したものと考えてい る.

なお、平成25年3月に国が公表した試算は、すべての関税が即時に撤廃され、国内対策を実施しない前提で行われた試算であり、そこが大きな違いであると理解している。

(神峪委員)

ということは、本県も生産者へのTPP対策をとっているから、生産性は向上し、価格が下落しても、農林水産業の生産量・所得も最大でも20億円程度の影響に留まる。 つまり、「TPP対策をこれだけとっているから影響はこのくらいになる」ということですね。

これ、考え方が違うんじゃないですか。影響があって対策 を検討すべきところを、「対策があるから、影響なし」とは、 本末転倒していると思いませんか。

まずは、県の独自の正確なTPP影響試算を出すべきではないでしょうか。

(知事)

国の試算は、関税削減等の影響で価格低下が生じるもの の、引き続き生産や農家所得を確保するため、国内対策を しっかり講じていくという国の決意を示したものと受け止め ており、同じ方法で算定したものである。

(神﨑委員)

本県の影響試算は、本県が公表しているわけですから、 国が国がというような言い訳は、いいわけないと思います。 私は、生産現場の不安と不信の根源となっている影響試算 の検証が必要だと思います。

過去最大の市場開放で、安い農産物が輸入されても、対 策によって、生産者所得が確保され、県内生産量が維持さ れるという、言葉のマジックのようなことでは、生産現場の疑 念は取り除かれないと思います。

県独自の正確なTPP影響試算を要望して、質問を終わり ます。

福岡県-江蘇省友好桜花園20周年記念訪問団 3月28日~31日記念式典·日中友好大茶会他

1992年福岡県と江蘇省が友好締結。1996年2月南京中山陵に桜の植樹「福岡-江蘇友好桜花園」開園。20周年を契機に、青少年も含めた訪問団(約130名)を派遣し、県民の国際理解を深め友好交流を推進する。



国際交流における県議会の役割は大きく、県議会と執行部との連携で、さらに地域間交流を推進します。

福岡県タイ友好議員連盟(副会長) バンコク都公式訪問(2月16日~20日) 経済、環境、文化、教育、観光、青少年育成など幅広い分野で、日本国とタイ王国との交流を促進するとともに、その調査研究を行い、もって両国の相互理解と友好を深めることを目的とする。

タイ・バンコク都議会に協力依頼~福岡県への総領事館開設

昨年11月25日から29日にかけてタイ国訪問に引き続き、2月16日から20日にかけて、福岡県タイ友好議員連盟としてタイ国を訪問しました。

2月17日には、タイ南部のナコンシータマラートを訪問。ナコンシータマラート市長と懇談を行い、現地にて本年5月8日に開校予定である柳川高校附属中学の設立に伴う現地学校との交流や日本企業の進出、消防自動車寄贈、廃棄物処分や環境協力等について幅広く意見交換を行うとともに、現在建設中である柳川高校附属タイ中学校の状況を視察しました。

2月18日は、バンコク都議会を表敬訪問し、クリアンサック・ロハチャラ議長、キッティ・ブッサヤパラコーン第二副議長をはじめバンコク都議会議員の皆さんと懇談を行いました。懇談では、まずクリアンサック議長から、桜や消防自動車の寄贈についてのお礼がなされるとともに、これからも協力関係を深めていきたいと述べられました。その後、本議連より、タイ国政府観光庁とタイ国政府貿易センターの福岡事務所の閉鎖により、今後、福岡県への総領事館の開設についてバンコク都議会に協力依頼を行うとともに、消防用ポンプを寄贈することについて紹介をしました。福岡県への総領事館の開設については、クリアンサック議長をはじめバンコク都議会議員の皆さんからも賛成の声が上がり、クリアンサック議長からバンコク都議会でも協力できるところは協力したいとの発言がなされました。

その後、バンコク都サムセン消防署と版ケー消防署において、消防自動車に かかわる交流事業が行われ、福岡県消防学校の教官による寄贈消防自動車の操 作研修や、消火活動についてシュミレーションが行われ、現地消防士との交流 や活発な意見交換が行われました。

また、翌2月19日には福岡県バンコク事務所を訪問し、昨今のバンコク情 勢やタイ福岡OB会との合同意見交換を行うとともに、タイにおける日系企業 の活動状況や福岡県人とタイ人との様々な交流を活性化させるための有意義な 情報交換ができました。



柳川高校附属タイ中学校訪問







川崎町消防団のご厚情で、 県議会は国際交流が都から 福岡県はバンコク都からのま 変感謝され、タイからのき ルバウンド観光にもす。 成果が生まています。 福岡 県議会も、川崎町消防団に 敬意と感謝をしています。

福岡県-江蘇省友好桜花園20周年記念訪問団

八女茶発祥の地と言われている蘇州霊厳寺を訪問し、明学法師住職との面談でした。八女茶は、今から600年前、栄林周瑞禅師が、筑後国鹿子尾村(現在の八女市黒木町笠原)に霊厳寺を建立し、明国から持ち帰った茶の種をまいて、土地の商屋松尾太郎五郎久家に与え栽培と製茶の技法を伝習したのが始まりと言われています。

全国で初めて「八女伝統本玉露」が地理的表示保護制度(G I)に登録され、国内外へのブランド発信に活用しています。





すのも、 の県内 ともに、 ラート」をはじめとする新たな商品同発 の登録支化財で近代化 宝元が点在する、 ございます。 に対し、県執行部に働きかけを行うと まねご努力の賜物であり、 使ったスイーツアイス「ふく ちリッチジェ るまちでもあります。 所在する、 町」のシンボルとして町を訪 詩る国指 福智町の今後益々のご づくり拠点機能拉克事業」が、 んでおられます。 方の目と心を楽しませています。 また、 こざいます。心からお慶び申し上げま稿智町誕生十周年、誠におめでとう このように地域の特性を最大限に 昨年十月には、地域に任わるものづく 代から近代までの貴重な地域資源が 山腹にたたずむ推定樹齢六百年以 地元県議として、 、全国に向けて発信することに取り、いい、地域ブランド化を進め、町の魅 近年では、 "峰「福智山」を臨み、 福智町 ます。昨今「人口減少」が叫ばれてい たまちづくりが暑実に進展していま **え代の継承と更なる発展を固る「もの** 定されている「赤レンガ |定された「城山横穴群」をはじめ、 の藤」とともに、「花とみどりの稿 定の天然記 | 方利生」が大きな課題となっていま ふるさと纳税制度の特段サイトの闸 力を合わせて、田川が田川地域の皆様と知 きたいと思います。 健勝とご多幸を心 地域をいかに元気にしていくか、 みを最大 最古のエドヒガン「虎尾 田川地域の良さを 町民の皆様の深い郷土愛とたゆ 生の先駆的事業に採択されまし 田川地域で初めて国の史 定任统的 歴史とえ化の魅力にあふれ くには四 **.** 北東に町名の由 念物である「定禅寺の 特產品「赤池梨」等 陶芸の里として 灸 町の様 百年以 工艺品「上 八押させ、 、小溪 発展と町 妹びにあたり、 産業遺産にも 持っている個 恵を出し合 深く敬意を 発信して参 々な取組み 上の伝 れる多くの ひををな 念 元気にし 桜」は、 来である 6億」等、 、国から 野焼」の 、民の皆 知ら 銑 活か 組力 圕 * 迎果 ŧ

```
タイ・バンコク都議会福岡訪問団
福岡-江蘇省友好桜花園 2 0 周年
                                                                     2月12日 福岡県文化騰連館内視察 大宰府他
2月15日 代表者会騰・騰会運営委員会
2月16~20日 県タイ友好騰連バンコク都騰会他訪問
略歷
                                ■平成28年1月
                                                                                                           3月27~28日
昭和53年 添田町立添田中学校卒集
昭和56年 福岡県立田川高等学校卒集卒集
昭和60年 日本大学商学部会計学科卒集
                                        須佐神社元旦祭
                                1月1日
                                                                                                           3月28~31日
                                        実践倫理宏正会元朝式
                                1月1日
                                                                                                                     記念訪問団
                                        川崎商工会議所新年賀詞交歓会
                                1月7日
                                                                     2月21日
                                                                             川崎町叙勲・褒章祝賀会
財和60年 日本大子園子那安計字再や菜
昭和60年 康生セント株式会社入社
平成 2年 株式会社麻生情報システム取締(分社化)
平成12年 株式会社麻生情報システム 取締役
平成23年 福岡県難選(田川郡区) 初当選
                                1月9日
                                        添田東新年会
                                                                     2月22日~3月23日 県議会2月定例会
2月22日 議員総会・政策審議会
                                                                                                           4月1日
                                                                                                                   上田川ライオンズクラブ例会
                                        消防出初式・成人式
                                                                                                                   地域振興に関する調査活動
                                1月10日
                                                                                                           4月2日
                                        議員総会・政策審議会
                                                                             九州の自立を考える会総会・講演会
                                                                                                                   油木ダム桜ウォーキング大会
                                1月12日
                                                                     2月22日
                                                                                                           4月3日
平成23年 福岡県議選(田川郡区) 初当選
平成27年 福岡県議選(田川郡区) 2期目の再選
                                        県土整備常任委員会
                                                                     2月23~26日 政策審議会
                                                                                                                   福岡県立大学入学式
                                1月12日
                                                                                                           4月4日
                                1月13日
                                        筑豊教育事務所・飯塚農林事務所
                                                                     2月25日
                                                                             議会運営委員会理事会
                                                                                                           4月4日
                                                                                                                   田川県土整備事務所
                                                                                                                   農林政策に関する調査活動
                                1月13日 タイ国政府観光庁感謝のタベ
1月14~16日 県産炭騰連・JR騰連合同視察 沖縄
                                                                             福岡県文化議員連盟役員会福岡県防衛議員連盟講演会
                                                                     2月29日
                                                                                                           4月5日
福岡県議会での主な所属
                                                                                                                   県土整備地元陳情
森友会福岡県藤団 副会長
福岡藩会運営委員会 理事兼委員
県藤会条例検討委員会 委員
                                                                     2月29日
                                                                                                           4月6日
                                1月16日
                                        タイ国関係者意見交歓会
                                                                     2月29日
                                                                             3月1日 代表質問
                                                                                                           4月7日
                                                                                                                   福岡県立高等学校入学式
                                        県議会広報紙編集会議
                                                                     ■平成28年3月
                                                                                                           4月8日
                                                                                                                   田川護国神社春季大祭
                                1月18日
果議会広報紙編集委員会 委員
県土整備常任委員会 委員
住・ひと・しごと創生調査特別委員会 委員
                                1月18~19日 緑友会政務活動
                                                                     3月1~2日 代表質問、議会運営委員会
                                                                                                           4月10日
                                                                                                                   山口屋油屋福太郎女子ソフトボール部
                                        九州大学農学部意見交換会
                                                                             福岡県タイ友好議員連盟役員会
県議会「第2回福岡の酒を愛する会」
                                1月20日
                                                                     3月1日
                                                                                                                   創部お披露日会
                                1月22日
                                        田川高校創立100周年記念事業委員会
                                                                     3月1日
                                                                                                           4月11日
                                                                                                                   議会広報紙編集会議
平成27-28年度予算特別委員会 理事業委員
福岡県河川協会 参与
福岡県文化議員連盟 副会長
                                                                                                                   福岡県スポーツ議連
                                1月22日
                                        東川崎行政区100周年記念式典
                                                                     3月2日
                                                                              福岡県日米友好議員連盟講演会懇談会
                                                                                                          4月11日
                                        福岡県農政連リーダー研修会
                                                                     3月3~7日
                                                                              一般質問(4日神崎聡)
                                                                                                           4月12日
                                                                                                                   議員総会・政策審議会
                                1月23日
福岡県夕/友好議員連盟 副会長
福岡県果樹振興議員連盟 事務局長
福岡県森林・林棠・林産業活性化促進議連 会計幹事
                                        県議会広報紙編集会議
                                1月25日
                                                                     3月3日
                                                                              福岡県林活議員連盟役員会
                                                                                                           4月12日
                                                                                                                   県土整備常任委員会
                                1月26~27日 県議会運営委員会視察(茨城県議会・福島県議会)
                                                                                                           4月13~14日 福岡県観光産業振興議連管内視察
                                                                     3月4日
                                                                              福岡県果樹振輿議員連盟役員会
                                                                              学校教育等に関する調査活動
                                                                                                                   福岡県議会条例検討委員会
                                                                     3月5日
                                                                                                           4月15日
福岡県日幹友好離員連盟
福岡県日半友好離員連盟
福岡県日中友好離員連盟
福岡県国際交流推進議員連盟
                                        医療情報調査活動
                                                                              福智町誕生十周年記念式典
                                1月28日
                                                                     3月6日
                                                                                                           4月17日
                                1月28日
                                        福智町役場
                                                                     3月6日
                                                                              ふるさとかわら梅まつり
                                                                                                           4月18日
                                                                                                                   災害対策政務活動
                                        筑豊地区中小企業団体連合会賀詞交歓
                                1月28日
                                                                     3月7日
                                                                             議会運営委員会
                                                                                                           4月19日
                                                                                                                   能本地震に係る知事要請
福岡県タイ友好議員連盟
福岡県ペトナム友好議員連盟
                                        田川・飯塚県土整備事務所
                                                                              福岡県文化議員連盟講演会
                                                                                                           4月19~20日 緑友会政務活動
                                1月29日
                                                                     3月7日
                                                                              予算特別委員会
                                                                                                           4月23日
                                1月30日
                                                                     3月7日
                                                                                                                   長生会・老人クラブ総会
福岡県日台友好議員連盟
                                1月31日
                                        県政全般に関する調査活動
                                                                              県土整備常任委員会
                                                                                                           4月24日
                                                                                                                   筑豊空手道選手権
福岡県口日及好職員建盟
福岡県防衛議員連盟
過疎地域活性化対策福岡県議員連盟
産炭地域活性化対策福岡県議員連盟
                                                                     3月8~9日
                                ■平成2
                                       8年2月
                                                                     3月8日
                                                                              医療ITに関する調査活動
                                                                                                           4月25日
                                                                                                                   平成筑豊鉄道関係者会議
                                2月1日
                                        議員総会・政策審議会
                                                                              議会運営委員会
                                                                                                                   災害対策政務活動
                                                                     3月9日
                                                                                                           4月26日
オイスカ国際活動促進福岡県議会議員連盟
福岡県観光産業振興議員連盟
                                        住. ひと. しごと創生調査特別委員会
住. ひと. しごと委員会視察 筑後地方
                                2月1日
                                                                     3月10~18日
                                                                               予算特別委員会
                                                                                                           4月27日
                                                                                                                   政策審議会
                                2月1~2日
                                                                     3月12日
                                                                              明蓬館卒業式
福岡県スポーツ議員連盟
九州・沖縄未来創造会議
九州の自立を考える会
                                        福岡県防衛議員連盟視察 築城基地福岡県文化議員連盟視察 沖縄県
                                2月3日
                                                                     3月13日
                                                                              大任無限設立25周年記念大会
                               2月4~5日
2月6日
                                                                             福岡県林活議連決算監査
インバウンド観光に関する調査活動
                                                                                                              県議会6月定例会代表質問のご案内
                                                                     3月17日
                                        地域振興に関する調査活動
                                                                     3月18日
福岡県農政連
                                                                                                             平成28年6月定例会で、代表質問の機会を
福門不成本を
本会議福岡支部 幹事
直方パイパス延伸推進期成会 顧問
広域観光協会 理事
                            田川
                                2月7日
                                        ライオンス* クラフ* 337-3R-2Z親睦ボーリング
                                                                     3月19日
                                                                              香春町豊産公民館
                                                                                                           頂く予定です。これも地元の皆さんのご支持・こ
声援のお蔭であり、今後ともご期待に応えるよう
                                2月8日
                                        政策審議会
                                                                     3月20日
                                                                              まちづくりフォーラム~田川広域観光協会
```

3月23日

3月24日

3月26日

3月27日

県議会2月定例会閉会・スポーツ議連

福岡県スポーツ議連

行橋市議会議員事務所激励

−生懸命に頑張りますので更なるご指導・ご助

平成28年6月13日午後より(予定)

言を賜りますようにお願い申し上げます。

柳川高校理事長議会訪問

2月9~10日 県土整備委員会視察 京築・北九州

皇紀2676年「建国記念の日」祝賀式

県議会広報紙編集会議

2月8日

2月10日

こうざき聡事務所

こうざきさとし

〒824-0602 田川郡添田町大字添田1417 TEL:0947-41-3880 FAX:0947-41-3881

検索